

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (三次市立塩町中学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第3学年
- ③ 単元名 自分の理論を発表しよう「新しい博物学の時代」
- ④ 本時の目標 文章の構成や展開, 表現の仕方など筆者の述べ方の工夫を評価することができる。
- ⑤ 学習の流れ (4時間目/全7時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 評価の観点を把握し, 学習課題を確認する。	・評価して読む観点を復習し, 学習目標を確認させる。 〔構成〕 ・ 〔展開〕 ・ 〔表現〕	
構成や展開, 表現の仕方など筆者の述べ方の工夫を評価して読もう。		
2 文章全体の論理の展開を確認する。	・筆者の立場になり, 『『新しい博物学』の時代』の文章を, プレゼンテーションで発表させる。説明させ, それを聞くことで, 論理の展開を明確につかませる。	
3 構成や展開, 表現の仕方など筆者の述べ方の工夫を評価して, 話し合う。	<p>・「この文章は, 多くの人が納得するか納得しないか。それは, なぜか。」について考えさせ, 理由をつけて論述させる。</p> <p>《根拠となること》</p> <p>〔構成〕・結論先行・双括型</p> <p>〔展開〕・理由の量と質とカテゴリー・複数の例・逆の例・接続詞</p> <p>・理由と主張とのつながりの適切さ</p> <p>〔表現〕・印象的な語彙・言葉の定義・主張の述べ方</p> <p>・写真や「明月記」の原文資料</p> <p>・個人思考の後, 集団思考を行わせる。</p> <p>・構成や展開, 表現の仕方など, 文章を評価して読んだことを根拠に, 話し合い活動をさせる。</p> <p>・説得力を持たせるための, 文章の述べ方の工夫を整理する。</p>	
4 課題に対応した振り返りを書く。	・ループリックをもとに, 自己評価を行わせる。振り返りを交流させる。	構成や展開, 表現の仕方など, 筆者の工夫について評価することができる。〔読む能力〕(ノート・発言・自己評価)

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 文章をプレゼンテーションにまとめることにより, 文章を要約することができる。
- 文章を評価して読み交流することにより, 文章の論理の展開を読み取る力と構成や展開, 表現の仕方について評価することができる。
- 文章を書く際や研究発表等において, 論理の展開を考えて表現することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 文章をプレゼンテーションのスライドにすることにより, 文章全体の論理の展開を把握させ, それを説明する場を設定する。
- 個の考えを明確にさせるために, 評価して読む観点を提示し論述させる。
- 評価と交流による認識の深化を把握させるために, 自己評価カードを活用させる。